

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	独立行政法人国立病院機構 京都府病院	階数	地上5F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	用途地域指定なし	平均居住人員	500 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	平成 24 年 6月20E 予定	評価の実施日	2010年12月18日
敷地面積	135,569 m ²	作成者	古井
建築面積	2,435 m ²	確認日	
延床面積	9,316 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 73%

③上記+②以外のオンサイト手法: 73%

④上記+オフサイト手法: 73%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	外皮性能、シックハウス対策に十分な配慮を行うことで、快適な室内環境を目指した	
その他		
Q1 室内環境	高性能断熱材の使用 複層ガラスの使用	Q2 サービス性能 高い天井高の確保
Q3 室外環境(敷地内)	植栽により良好な景観を形成	
LR1 エネルギー	トップライトの採用 高効率照明の使用	LR2 資源・マテリアル 外壁タイルなど一部再生材の利用 節水型器具の採用
LR3 敷地外環境		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい